



炬火を掲げていざ謳う

No.84



我らの泉鳥取

2024年 7月19日 (金)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

特別インタビュー

メッセンジャー あいはらさん

去る5月12日の同窓会総会の時、泉鳥取高校の卒業生で、現在マスメディア等で活躍されている、メッセンジャーあいはらさん(會原雅一さん10期生)にインタビューをお願いしたところ、快く応じてくださいました。

イズトリを選んだのは？

○ 早速ですが、あいはらさんが泉鳥取高校に入学するきっかけは？

▲中学校の先生に勧められたんです。学力的なものもあって、それと、当時イズトリは制服が学ランやったでしょ。それもありました。

学校生活は？

○ あいはらさんがイズトリに在校していた時代どんな感じでしたか？

▲自分でいうのもなんですが、わりと要領のええ生徒やったと思います。先生なんかもうまくやり過ぎていました。先生から見たらおとなしい生徒やったと思います。だから吉本に入った時、1年で担任してくれた梅川先生(社会科梅川邦夫先生)が「そんなことをする人とは全くわからなかった」っておっしゃってました。

○ 在校中もっとも印象に残ったことは？

▲これはテレビでも話しているんですが、私の両親が、ぼくが6歳、弟が4歳の時に離婚して、兄弟離れ離れになったんですが、ぼくが高校3年になった時、なんとその生き別れた弟がイズトリに入学してきたんです。でもね、それを知ったのが僕が卒業する3日前でした。

吉本に入ったきっかけ 夢をあきらめない

○ 卒業後、吉本に行かれましたね。

▲いえ、最初から吉本に行ったわけではありません。知り合いの紹介で、難波の飲食店で働いていたんです。21歳の時、マスターの紹介で、ホテルのレストランに転職することが内定していたんですが、それをお断りしてNSC(吉本興業の芸人養成施設)に入ったんです。イズトリも10期生ですが、NSCも10期生です。

○ それはどんなきっかけで？

▲実は、小学校の同級生が、21歳の時に競輪選手になったんです。競輪選手ってなるのがとても難しいですよ。でもがんばって競輪選手になりよったんです。その同級生の話を聞いたのが、吉本に行くきっかけになりました。

○ 芸能界で最もお世話になった方は？

▲トミーズの雅さんです。まだ仕事がない時代に、雅さんの「ごきげんプランニュ」という番組に出させていただいたんですが、「おまえは好きにやったらええで、責任は俺が取るから」と言って、自由にやらせてくれたんです。この番組放映が始まってから急に仕事が増えてきましたから。

長く活動するには 最後はひとがら

○ あいはらさんも売れ出してから、長く続けておられます。長く続けられた秘訣は何でしょう？

▲ぼく、学生の時、努力とか真面目とは全く無縁だったんですが、好きな仕事に入ったら、結果を残さんといかんでしょ、芸能界に入って、初めてまじめに努力してますね。特に人付き合いに関しては気をつけてます。30年40年と続けるためには、最後はひとがらですからね。

イズトリの同窓生や生徒へのメッセージ

會原さんからのメッセージ

世の中、大変厳しいけど、あきらめずに、希望をもって、自分のできる範囲で頑張ってほしいです。頑張りすぎて、体壊したり、自分を見失ったら元も子もないので、自分のできる範囲でいいと思います。

○ 本日はありがとうございました。(2024年7月9日)

